

# 美術 I 課題「鉛筆デッサン2」\*5月いっぱいの課題です

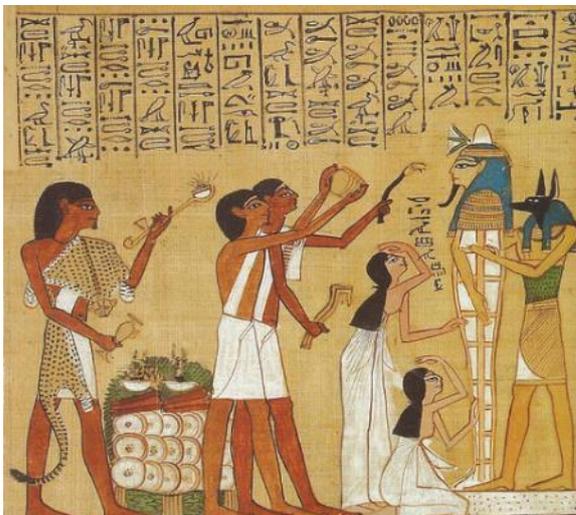
1年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

教科書P16、17

## 1. 遠近法

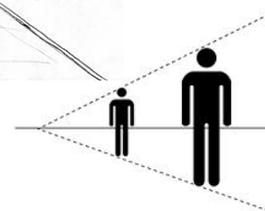
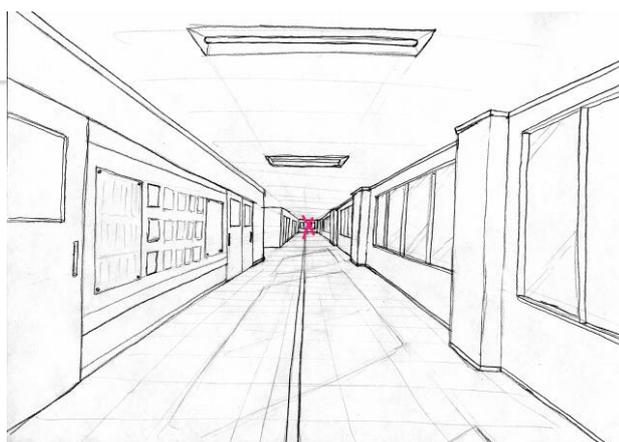
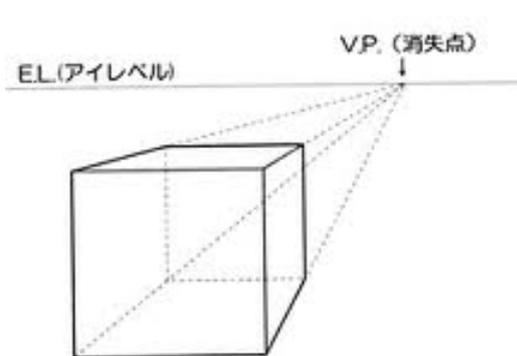
物を立体的に、風景を奥行きがあるように描くため、さまざまな「遠近法」が開発されました。

### ○遠近法があまり発達していない頃



### ○透視図法・・・15世紀ごろにヨーロッパで生み出されました。

- ・一点透視図法・・・地平線上の消失点という1つの点に向かって物が小さくなっていく技法。



### ○いろいろな遠近法

- ・空気遠近法



- ・吹き抜け屋台



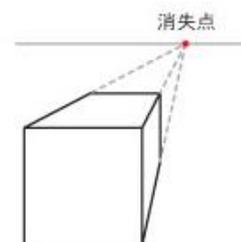
- おまけ



○実際の風景では

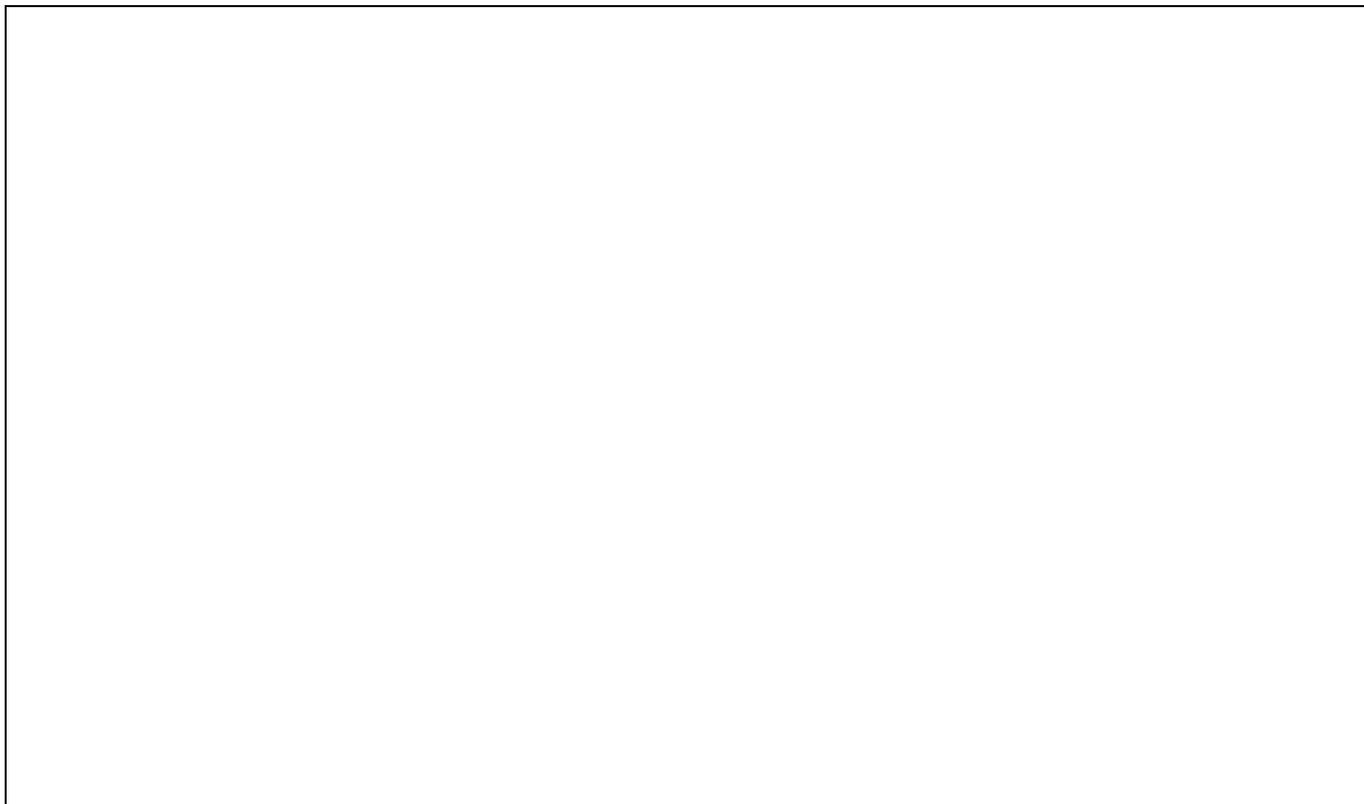


2. 問題：次の絵の消失点はどこでしょう？（レオナルド・ダ・ヴィンチ『最後の晩餐』）



3. 次の枠の中に消失点を1つつけ、立体が透視している絵を描いてみよう。(3つ以上) 描いたら影をつけてみよう。  
\*大きく描きたい人は、裏に。

例 →

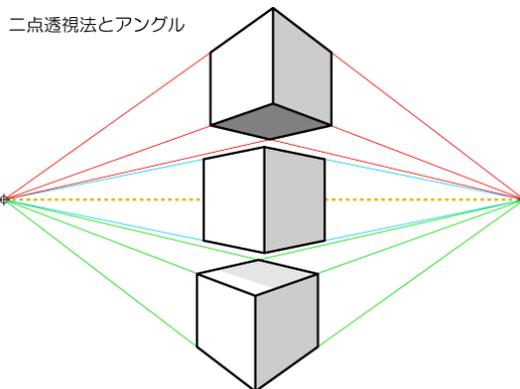
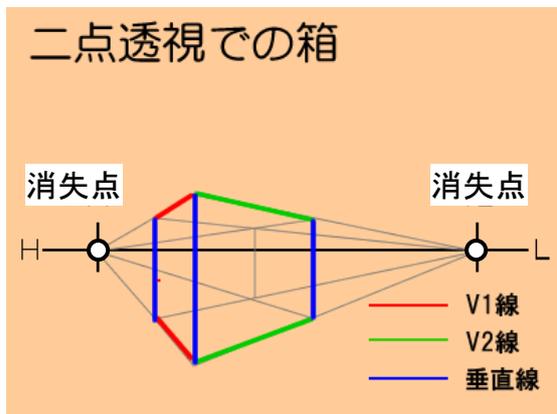


# 美術 I 課題鉛筆デッサン3 \*5月いっぱいの課題です

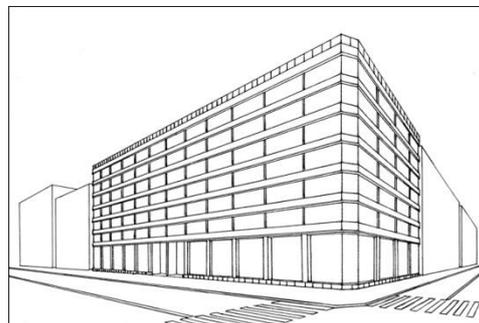
1年( )組( )番 氏名( )

教科書P17

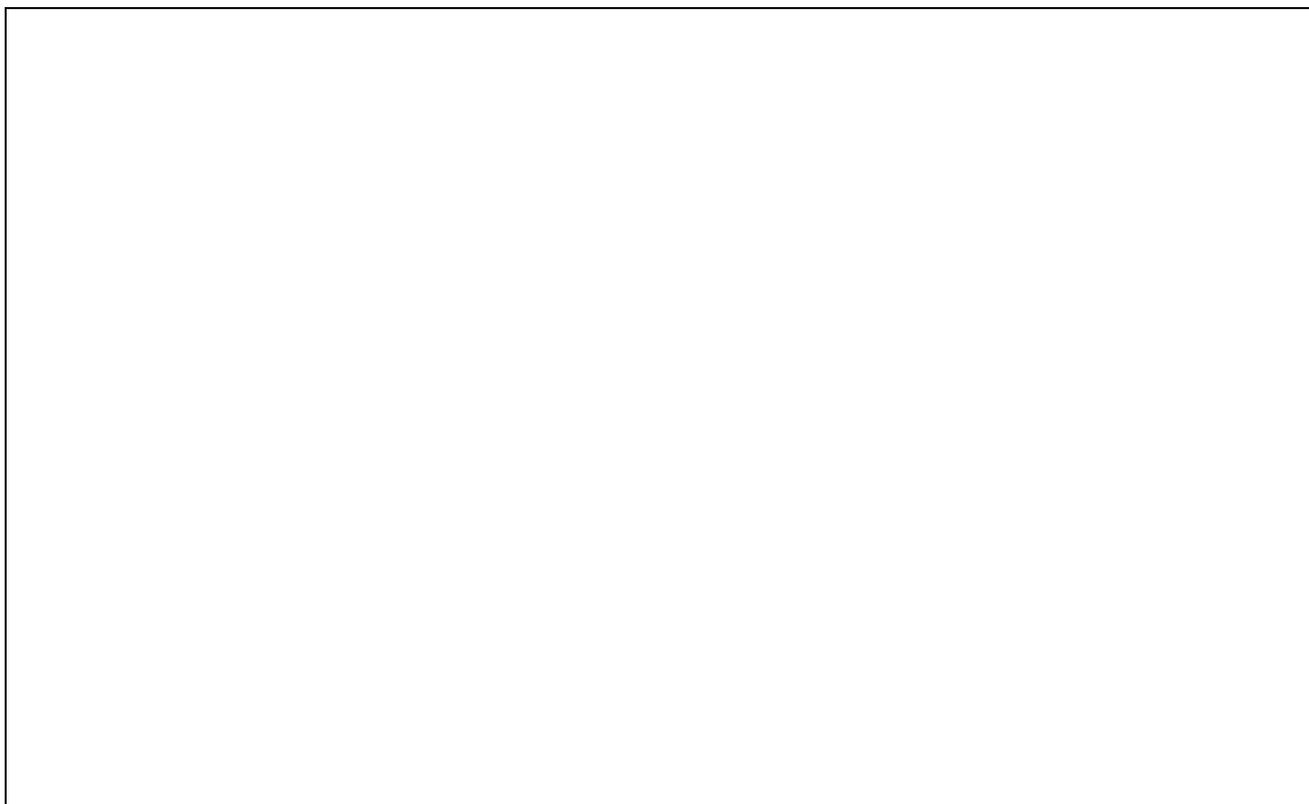
- ・二点透視図法・・・地平線上の1つの消失点に向かって物が小さくなっていく技法。  
こちらがみんなが主に使っていく技法になります。



○実際の風景では

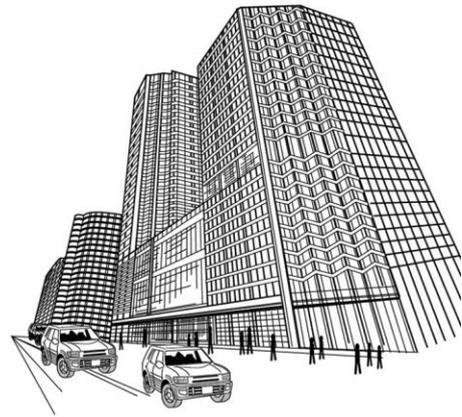
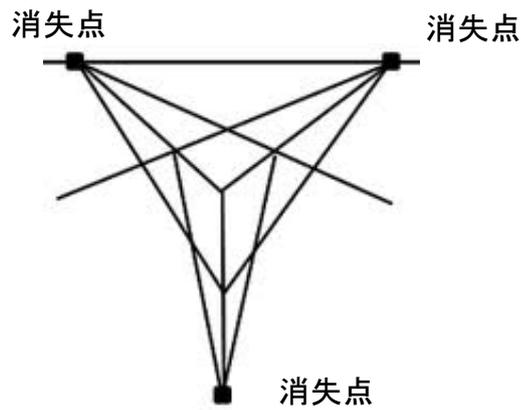


4. 次の枠の中に消失点を2つつけ、立体が透視している  
絵を描いてみよう。(1つ) 描いたら影をつけてみよう。



・ 三点透視図法について・・・3つの消失点に向かって物が小さくなっていく技法。

あまり使わない。なぜかという、床に対して垂直（直角）な線が無いと不安？落ち着かなくなる？から



5. 次の図形を、二点透視図法を使って描いてみよう。

